

市政をくらし破壊の防波堤に 市議会報告

第2回定例会

第2回定例会（5/24～6/5）は、長屋いずみ市議が代表質問にたち、海外での武力行使につながる改憲や建設事業費の見直し、物価高騰支援等について取りあげました。

代表質問

- 平和都市宣言をもつ市として9条改憲への認識や影響について質問。市長は、「様々な意見を集約していく必要がある」と答弁しました。
- ナフサ由来の資材が不足し、必要な対応策を求めましたが、市は独自支援策は示しませんでした。
- 市有施設の廃止、停止、存続を検討する取り組みについて市民意見の反映を求めました。
- 来年度以降の小中学校の給食無償化については「国に要望」し、給食を食べない場合の保護者への給食費相当分の給付は、「他都市の状況等も踏まえ検討」（教育長）と答弁しました。
- 市営住宅の給湯など設備改修は、「建替えに合わせて整備」と早期実施を望む入居者に背を向けました。

4議案に反対しました

- 高額療養費制度利用者の8割が負担増となる制度変更にむけたシステム改修費

- 混雑度が低く必要性が乏しい都心アクセス道路のための下水道管移設の追加の補正予算（約50億円）
- 本社機能移転への税優遇と譲渡所得が高い人への税制優遇となる特定暗号資産の条例案
- 保育施設の配置基準の規制緩和

裁決一覧表

件名	共	自	民	公	坂	か	未	健	市	維
国保及び下水道事業の両会計補正、市税条例、認定こども園の設備運営基準の改正	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○

会派は、左から共産、自民、民主、公明、坂元荒井、かずさ、未来、健康、市民ネット、維新。

「中東地域における人道危機の平和的解決を求める決議」が全会一致で可決。

政府に、「早期の事態鎮静化と平和的解決に向け、あらゆる外交努力を尽くす」ことを求めるものです。

第1回定例会

札幌市の2026年度予算（3月26日成立）は、一般会計1兆3,185億円、全会計2兆405億円。太田秀子市議が代表質問で問題点にふれつつ市民のくらし向上のための提案をおこないました。

困窮する市民生活を直撃、大型開発は事実上聖域

代表質問

予算には都心部の大型開発等が温存され、将来的に約600億円を投じる新MICE施設整備の予算が計上されました。一方で、市民のくらしや福祉の分野で歳出削減や

他、敬老パスの事業縮小の見直し、路線バスの廃止、外国人児童・生徒への日本語教育、除排雪制度、丘珠空港などを取り上げました。

（表1）主な歳出削減や負担増

項目	2026年度の影響額
敬老パス	約8億4,000万円
火葬料値上げ	約4億円
下水道料金値上げ	約20億円(半年分)
市営住宅家賃値上げ	約7,000万円

市民負担増が随所に盛り込まれています。（表1, 2参照）また、子ども医療費助成の所得制限撤廃は、2年連続で予算要求されながら見送られたため、実現をと迫りました。その

（表2）見直しが求められる事業

項目	2026年度の影響額
再開発 北5西1・西2	17億円
再開発 北4西3	91億1,500万円
再開発 大通西4南地区	40億7,200万円
新幹線負担金	58億8,700万円
都心アクセス道路負担金	18億円
札幌駅交流拠点まちづくり推進費	16億7,600万円
新MICE整備事業	2,600万円

要求の実現へ、市民とともに…

●施設使用のあり方でガイドライン等策定へ ——アイヌ差別展示問題で札幌市

チ・カ・ホ（地下歩行空間）等で先住民族のアイヌを差別するパネル展が開催され、当事者や支援者が市有施設を使わせないよう申し入れていた問題で、市は6月、「アイヌ施策に係る公の施設使用等専門部会」を開きガイドライン等の検討を開始。党市議団は昨年、展示への見解と対処方針を求め、秋元市長が、「当事者の声に加え、有識者や法の専門家の意見等も丁寧に伺いながら、今後の対応を検討」と答弁していました。

●4月から、とくとく健診の自己負担無料に

札幌市国民健康保険加入者の「とくとく健診」（基本健診）の自己負担が無料になりました。党市議団は、受診意欲を喚起するために無料化の対象拡大を求めています。



市政へのご要望やご相談がありましたら、お気軽にご連絡ください

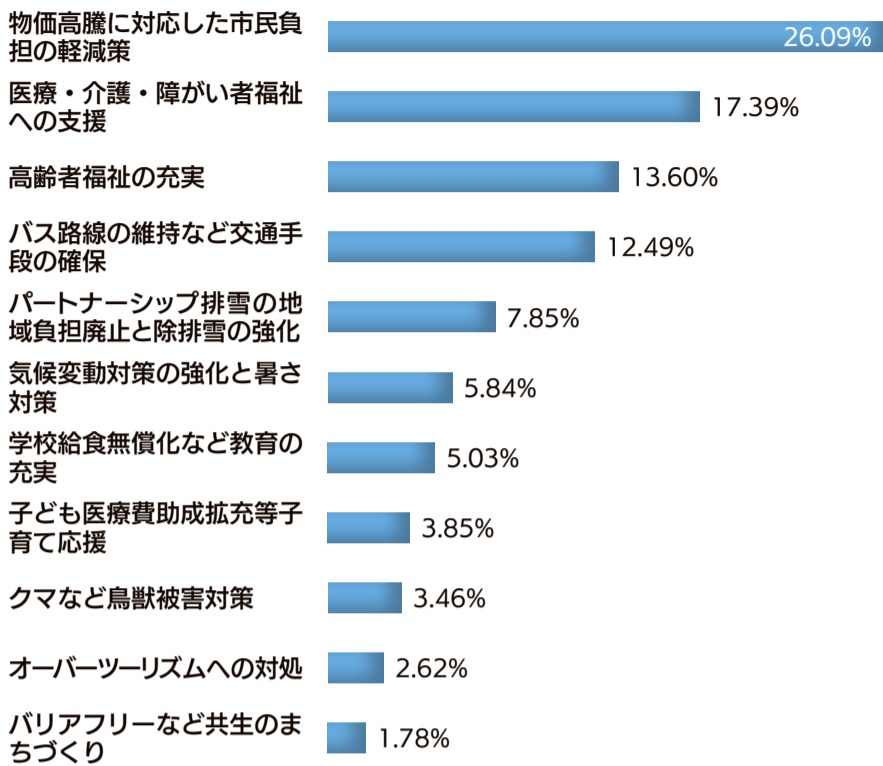


くらしやまちづくり、市政の評価、市議会の役割で1200人を超える市民から回答が寄せられました

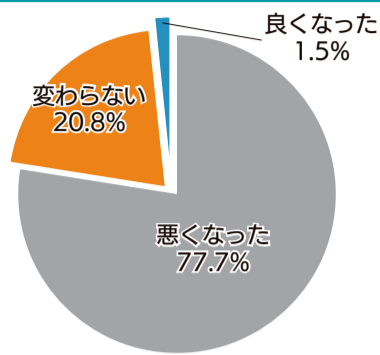
ムダ使いにメスを入れ市民負担軽減最優先に

2025・26年 日本共産党市議団
市政アンケート結果
についてご報告します。

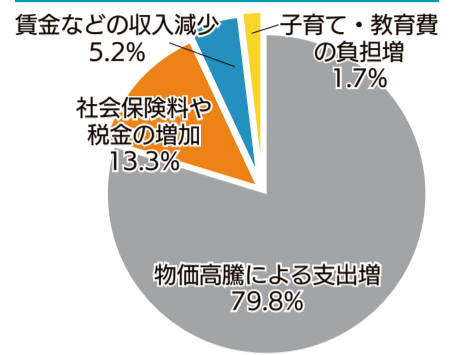
優先して取り組んでほしい施策をお聞かせください



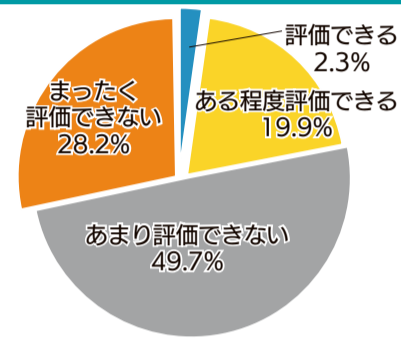
前年と比べてあなたのくらしはどうなりましたか？



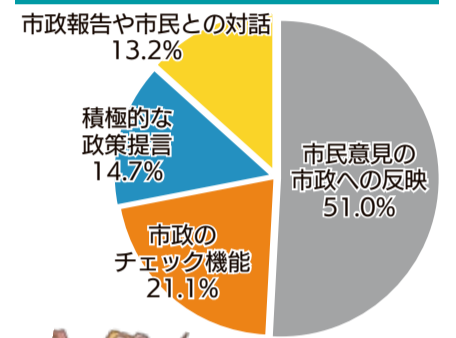
悪くなったと回答された方は理由を1つお聞かせください



市政の評価をお聞きします



市議会の役割で大切だと思うものを1つお聞きします



自由記載欄に寄せられた主な市民の意見をご紹介します

- 【くらし・雇用】**
 - ・中間層への支援策を (50代)
 - ・入浴はシャワーだけでがまんしている (60代)
 - ・お米高くて大変です (30代)
 - ・敬老パス制度の縮小幅を少なくして (70代)
 - ・火葬料有料化16,000円は困ります (60代)
 - ・自衛隊への名簿提供は中止に (40代)
 - ・福祉職の給与がもっと上がるようにして (30代)
- 【まちづくり】**
 - ・既存施設があるのに新MICE施設整備ムダ (50代)
 - ・バスの減便もうやめて、民間任せやめて (80代)
 - ・歩道の除雪ひどすぎます (50代)
 - ・オリ・パラは絶対やめて (80代)
 - ・下水道は段階的に整備を (70代)
- 【市営住宅】**
 - ・市営住宅の空室に現役世代が入居できる基準緩和を (50代)
- 【教育について】**
 - ・学校給食センター導入でなく、自校方式の給食を続けて (60代)
- 【市政及び市議会について】**
 - ・市議会の役割、活動みえない (60代)
 - ・市政が何をしてくださっているのかよく分かっておりません (20代)
- 【憲法や平和について】**
 - ・絶対に戦争したくない (30代)

市民の声を市政に届ける 日本共産党市議団の論戦

「**今後10年間の財政推計**」で、公債費の増加などが財政を圧迫していることから、新MICE建設等も聖域とせず計画を見直すよう求めました (太田市議)

平均23%になる**下水道料金値上げ**の中止を求め、他政令市にあるような実効性のある減免規定の運用を求めました (池田市議)

身体障がい者などの利用ニーズがある**車両改造費補助の半減などの撤回**を求めました (田中市議)

特別支援教育担当教員に支給されている教職調整額の引き下げは、**障がいのある子どもの教育と専門性を軽視**したものであり国に撤回を求めるよう質問しました (長屋市議)

受診率が低いがん検診の**精密検査について市が受診勧奨を**おこなうよう提案しました (吉岡市議)

福祉除雪制度の利用要件が介護認定と介護サービスの継続利用の高齢者に変更されることで必要な人が利用できなくなるよう柔軟なとりあつかいを求めました (さとう市議)

加齢性難聴の早期発見のため、特定健診 (とくとく検診) の項目に聴力検査を追加することを求めました (池田市議)

国保加入の個人事業主やフリーランス、非正規労働者でない、出産時の休業補償となる**「出産手当」**について、自治体独自の実施検討を求めました (田中市議)

バス路線廃止に伴う代替交通導入の要件で、積雪・高齢者を考慮しない「バス停まで半径500m」等の基準は実態と乖離していると見直しを求めました (小形市議)

札幌市による**自衛隊への名簿提供**の中止を迫りました (太田市議)

